

令和7年9月26日

保護者様

丹波篠山市立大山小学校

校長 山本 真

## 令和7年度 丹波篠山市立大山学校 学習や生活に関する学力向上プラン

本校は、全国学力・学習状況調査（6年生）及び丹波篠山市学力・生活習慣状況調査（5年生）、生活習慣状況調査（3・4年生）の結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況等についてご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、さらに学校の教育活動へのご支援をお願いいたします。

### 【調査結果の概要】

#### 全体的な状況

6年生対象に行われた全国学力・学習状況調査（国・算・理）、5年生対象に行われた丹波篠山市学力状況調査（国・算）では、両学年とも教科や単元によって目標値及び全国平均を上回る結果と下回る結果が出ており、得意な分野と不得意な分野の差が顕著に見られました。また、同じ分野内でも、問題の内容によって差が見られるものもありました。

#### 国語科

6年生…「話すこと」の内容として、「安全運転に関するインタビューの様子」についてその目的を選択する問題が高い正答率になっています。また、既習漢字を正しく読む問題についても高い正答率になっています。しかし、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけること、考えたことを決められた字数の範囲内で書くことに課題が見られました。

5年生…第4学年に配当されている漢字を正しく読む問題が高い正答率になっています。一方で、正しく書くことについては課題が見られました。また、長文や問題文の読解力に課題があり、特に字数制限で記述する場合に要件を満たした解答が難しく、「書くこと」に課題が見られました。

#### 算数科

6年生…角の大きさについて、角をつくる2つの辺の開き具合に関する問題が高い正答率となっています。示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を一つの式（総合式）で表し、計算する問題についても高い正答率になっています。しかし、平行四辺形の定義・性質の理解やコンパスを使った作図など「図形」領域において課題が見られました。

5年生…数直線上に示された分数を読み取る問題や、図を使って比較量を求める乗法の立式についてよく理解し、高い正答率になっています。しかし、三角定規を組み合わせてできる角の大きさを求める問題や、数量の関係を割合を使って説明する等の問題に課題が見られました。

#### 理科

6年生…ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイル巻数の変え方を書く「短答式」の問題で高い正答率となっています。一方、レタスの種子の発芽の結果から、示された気づきをもとに、見出した問題について書く「記述式」の問題については課題が見られました。

#### 学習生活習慣について

どの学年においても、項目によって全国平均を上回る結果と下回る結果が出ています。3・4年生では、「学級の規範意識」の項目において数値が高く、学校や学級の規則を守る意識の高さがうかがえました。5年生では、「学級の絆」の項目において数値が高く、多くの子どもが友だちのよいところを言葉にできると回答するなど、学級の絆を感じているようです。6年生では「社会参画」の項目において数値が高く、お祭りやボランティア活動など、地域行事に参加しているという回答が多く見られ、ふるさと「大山」に愛着を持って過ごしている様子が見られます。

## 課題と対応

この結果をもとに、「国語科」「算数科」「理科」においてこれまでの学力向上の取り組みを真摯に見つめ直し、今後、学校として「授業の工夫」・「基礎的内容の習得」等を課題として一層の取り組みを進めていきたいと考えています。そのため、結果の分析を通して『子どもたちに必要な力は何か』、その力をつけるために『どのように授業を改善していけばよいのか』という授業改善の視点を検討しました。

### 国語科

**文章を読む目的を明確にして必要な情報を捉える力、  
伝えたいことの根拠を明確にして書くことができる力の育成**

- ・ 字数制限を入れたり、書く際の約束を盛り込んだりして、文章の書き方を学ぶ機会を増やします。
- ・ 授業では、対話の時間を設定し、目的意識を持って話し合う学習に取り組んでいきます。
- ・ 授業後のふり返りでは、視点を明示した上で話したり書いたりできるようにします。
- ・ 日常的に作文指導を行い、書くことへの習慣化に取り組んでいきます。
- ・ 学校、学級内の図書環境を整え、気軽に本を手に取り読書をする習慣を育てていきます。
- ・ 自主学习等を通して、調べたことを短文でまとめたり資料をつくったりする取り組みを続けていきます。

### 算数科

**数学的な用語や表現について知識の習得と活用を交互に繰り返し、  
自分の考えを自分の言葉で書いたり発表したりする力の育成**

- ・ 自分の考えを書いたり発表したりする場面を意図的に授業の中に取り入れていきます。
- ・ 授業では、友だちと自分の考えを交流したり比較したりする対話の活動を取り入れていきます。
- ・ 基礎的な計算力を身につけられるように計算スキルの向上を目指していきます。
- ・ 関係図や数直線、作図など作業的な活動時間を十分確保した授業を行います。

### 理科

**問題解決や科学的な探究のプロセスを通して、  
学習を通して身につけた知識を活用することができる力の育成**

- ・ 日常的な事象と学習内容を結びつけて、体験的に実感させることができる授業づくりを行います。
- ・ 学習中に子どもが学び合い、考えを深め合えることができるような対話の時間を設定します。
- ・ テーマを決めて、グループでまとめたり実験に取り組んだりする活動を行います。

### 学習・生活習慣

これまで同様、子どもたちの学習や生活習慣が崩れないように家庭との連携を密に図っていきます。また、今後も対話を取り入れた学習形態や目的意識を持った課題設定の取り組みも含め、クラブ活動や総合的な学習の時間などの様々な学習において、家庭や地域の方と関わりながら、互いを認め合い、子どもたちが自信を持てるような機会を設けていきます。

### 【保護者の皆様へのお願い】

本プランを提案したねらいは、子どもたちの実態や課題を明確にし、課題解決に向けて学校と家庭が連携して学力の向上に取り組むことにあります。

今後も学校と家庭が連携し、子どもたちの更なる成長を見守っていきたくと考えております。

ご家庭におきましては、日々の学習等でお子様の励みとなる声かけを引き続きお願いいたします。